

楽しい実ぐみ

今月(又休園、協力休園と、休園に伴う家庭保育の「ナカカ、ありがとう」ございました。

2月は、みんなの作った作品や絵を見て頂く制作展を予定していましたが、コロナの拡大もあり、作品を持ち帰っていただくこととなりました。制作展のおたよりでも少し書きましたが、しいのみぐみは、ジュースのパックを使って「こま」を作りました。

パックに画用紙を貼り、ピンク、黄色、水色の3色のえのぐの中から好きな色を選んだり、順番に色をつけたりしてこま作りを始めました。

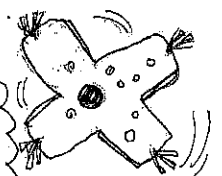
手を使って色を塗ったり、筆を使ってみたりお友だちと一緒に楽しみながら取り組みました。手にえのぐが「付くのが」嫌な子は、筆を使っているお友だちと一緒に塗ることや、刺繍機を受けて初めての筆を楽しめたりもしました。タペナミックに楽しめるしいのみぐみなので、「楽しい!!」という気持ちを一緒に共有することができました。

手でえのぐを塗った子どもたちは指から伝わる感覚や、えのぐの色の色彩を楽しみ、とても素敵な線が描けました。もうそれだけで充分々々と思える作品に仕上がりました!! 筆で塗った子どもたちはその「感触」が面白いのか、画用紙が毛羽立つくらい色を重ねて塗っていました。

しっかりと塗れていたのが、シール貼りも楽しみました。指先にかを込め、キュッとシールを貼ります。集中力も高く、お友だちが貼っているのを見ながら、「あ、まだ貼のしやう!! もうちょとやろ!!」と刺繍機し合っていました。

スズランテープを裂くのは一度コツを掴むと楽しくなり、そして裂けるのが気持ち良さやうで「シュー」と裂けると「とー」とも笑顔になる子どもたちです!! 裂けなくても手でクシャクシャ!と揉んだだけでも「感触」や音が「あもしろいのかニコニコと笑顔」に戻っていました。おうちでもしい、ぞいおそんでくれると嬉しいです。

今回作れたお友だちはまた来年、楽しみにしててください。



このメンバーで過ごせるしいのみぐみもあと1ヶ月。いっぱい笑って楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

しいの実*たんぽぽ*みず

2月 クラスだよ

2月も終わりを迎え、今年度はあと残り1ヶ月となりました。暦の上ではもう春と呼ばれる季節ではありますが、外に出るとまだひんやりと寒さが肌に触れます。外で身体を動かす反面、室内での遊びも充実させながら残りの1ヶ月をゆっくりと過ごしていきたいと思っています。新型コロナウイルスによる活動の制限もある中ですが、今出来ることを楽しんでいけたらいいですね。

2022.2.28 円町まぶね隣保園

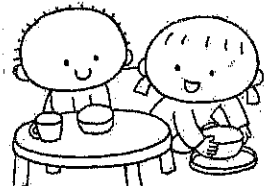
みずぐみ

☆ 節分を通して

節分は悪いものを追い出し、みんな元気に過ごせるようにと願う日です。円町まぶね隣保園にも3日に鬼がやって来ました。鬼が来た用意していた豆で追い払うと話していた子どもたちでしたが、突然本物の鬼が来たことにびっくりして固まり、泣き出してしまいました。それでも豆に見立てた新聞紙を一生懸命に投げ、鬼を追い払っていました。鬼のことは怖かったようですが、豆を投げて追い払うということは今でも遊びに繋がっていて、鬼の紙を見つめているとボールを投げて追い払う遊びをしています。節分を通して、これからも悪いものを病気や悪い気持ちに負けないように元気に過ごしていきたいと思っています。

☆ 子どもの姿

園庭に出ると、異年齢の大きいクラスの子とも関わり、一緒に遊ぶこともあります。その中で「だるまさんがころんだ」や「鬼ごっこ」など少人数性の遊びにも参加して一緒に遊ぶことで、みずぐみの子どもだけの時にも「鬼ごっこしよう!」と追いかけて遊んだり、だるまさんがころんだでも振り向いて動いた!」と言っていました。まだルールを完全に理解するのは難しいですが、子どもが自分で考え、とても楽しそうに遊んでいるので今は暖かく見守ってみようと思います。室内でも見立て遊びやなりきり遊びをよくしています。男の子もドレスを来て、おもちゃをひんに見立て、その周りを囲み、誰が何役をするかをしっかり決めていました。最近では「アイクリップ」というおもちゃで遊んでいます。クリップをはさんで凸凹がうまくはまるとカチカチ動いて色んな形に出来るので子どもたちなりに工夫して遊んでいます。凸凹がうまくはまらず、カチカチと動かないので「あれ?」といいながらも保育者と一緒に車やお花、とりなどを作っていました。



たんぽぽぐみ

宝物入れ

制作展は中止になってしまいましたが、子どもたちは完成した宝物入れを見て、とても嬉しそうにしています。制作中、「宝物入れ作るよ」と話していても、似じはしにくかたかと思いましたが、達成感のようなものを感じているのかな?と、子どもたちの表情を見て感じました。

はじめて和紙染めをしました。濡れた和紙の慣れない感触に戸惑う姿もありましたが、「ホッパン、キュー」と言う保育者の声に合わせて、一緒に口ずさみながら、リズムに乗って取り組んでいる姿もありました。和紙を牛乳パックに巻く(貼る)時は、普段、食事の時、タオルで手拭きをしたあと、自分たちでタオルをクルクル巻いているので、その流れで牛乳パックを転がすのかと思えば、和紙を牛乳パックに巻きつけていく姿があり、なるほど!!子どもながらに考えているんだなと感じて見守っていました。ご家庭で、ままごとあそびをする時や、買い物、お出かけの時などに使ってもらえたら嬉しいな、と思います。



ジバンテ!!

最近よく「イヤイヤやジバンテ」を言うようになりましたと保護者の方からお聞きすることが増えてきました。

「イヤイヤ」「ジバンテ」は大人にとったら、大変なことだと思います。思わず「どうしたいの!!」「わかままばかり言て!!」と声を荒かたくなることもあるかと思えます。しかし、これは、こちらに対して反発しているのではなく、自我が育ってきた表れであり、子どもにとっては大切なことです。子どもがしようとしていることに対して、時間がないからと大人がしてしまうのではなく、待てたり、「〇〇におろ? △△におろ?」選択肢を提示し、子ども自身が「選べるようにしてみよう」と、その場によって、自分自身で判断し、いくつかの選択肢の中からジバンテ好きなものを選べるという力を発揮でき、選んだ行動を認め尊重することが、次の発達へとつながっていきます。

毎日、忙しくされ、子どもの行動に寄り添うことが難しいこともあると思います。しかし、「今」の時間は「今」しかありません。日々成長し大きくなっていく子どもたちに向き合う時間を作ってみてはいかがでしょうか?

